

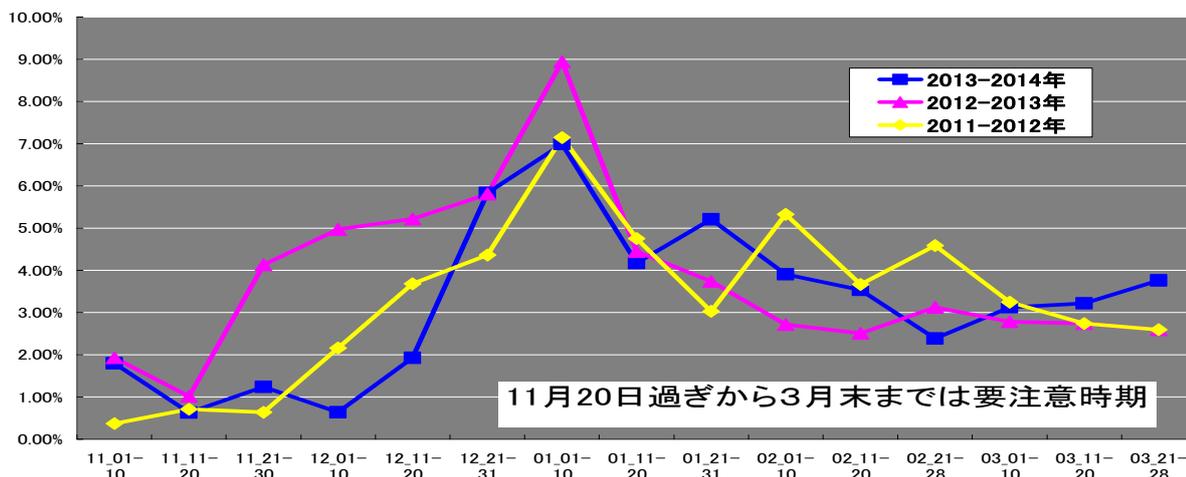
## ノロウイルス検査（ノロウイルス流行時期です）

ノロウイルス遺伝子は、G I, II 合わせて35株に分類されますが、近年主型のG II-4株でも毎年多少の突然変異を繰り返しています。人はウイルス粒子の表面構造に反応し、抗体を産生することで免疫を獲得します。2012-2013 年の大流行は、このG II-4:2006b株のウイルス表面構造が今までになく大きく変化し、これまで集団に蓄えられた免疫応答が成立しなくなったと報告されています。

この猛威は、今年も引き続くことが予測され 15,000~20,000 名が食中毒患者になると予想されます。最近の感染パターンは、人から人への感染で事故事例の 90%程度を占め、自覚症状の無い不顕性感染者が、その半数を占めているという報告があります。飲食、ホテル業界、商業施設では少しも気の抜けない季節となりました。

最近3年間の11月から3月までのノロウイルス検査陽性率を図に示しました。シーズン中は3~7%の陽性率が観察されています。スクリーニング検査にて、保菌者を確実に見つけて事故を防止してください。

過去3年間のBMLフード・サイエンスで検査した ノロウイルス陽性率



不顕性感染者といえども、有症患者とほぼ同等のウイルス排菌量があるといわれ、症状がない分だけハイリスクな感染源となります。潜在的リスクを制御するには検査以外に方法がありません。

感染者は下痢、嘔吐、発熱後に自然治癒しますが、症状が改善した後も1~2週間は排菌が続きます。

症状が治まったからといっても直ぐに職場復帰させず、手洗いや個人衛生管理には細心の注意をお願いいたします。職場復帰には、RT-PCR 等通知にある高感度な検査法による陰性確認が必要です。

### 検査受託体制

RT-PCR 法(島津製作所:検査用遺伝子配列はBMLの特許を採用)で実施しております。

検出感度は、大量調理施設衛生管理マニュアルで指示されているリアルタイム PCR 法(遺伝子検査)と同等な高感度な検査です。11月4日~翌年3月末までは、月~金曜日検査を実施しております。

また、有症者の緊急検査等は、事前連絡を頂ければ土日祝日も対応させていただきます。

お問い合わせ先

株式会社 BMLフード・サイエンス 営業統括部

本社 : 〒161-0031 東京都新宿区西落合二丁目 12 番 14 号

札幌 : 011-633-6861 東京 : 03-5988-0218 名古屋 : 052-365-2310 大阪 : 06-4706-4400 福岡 : 092-432-8441